

市の明るい未来を願い、道筋づくりに調査で貢献

八幡平市統計調査員協議会会長

小笠原日出夫 さん

おがさわら・ひでお 70歳 〓五日市3区〓



昭和25年生まれ。田の沢出身。父、妻との3人暮らし。(株)小笠原林業に勤務。学生時代の好きな教科は社会科で、現在も郷土の史跡探訪が趣味。現代につながる文化や社会の出発点となっている日本の中世史を愛する。自らの性格を優柔不断と分析するA型。

5年に一回の国勢調査を終え、ホッとした表情を見せたのは、4月から市統計調査員協議会の会長を務める小笠原日出夫さん。

今年度は日本で国勢調査が始まってから100年の節目の年。新型コロナウイルスの影響やインターネット回答の普及もあって「対面から非接触へ」時代の変化を感じる調査となった。

調査員となったのは44歳のとき。地域からの推薦と前任者から誘いがあって引き受けた。

最も印象に残っているのは、地理も住民も知らない調査地を担当した初めての住宅土地統計調査。緊張で顔がこわばっていたのか、相手にされず断られていたところ、5件目の訪問先の方がそういう事情であればと、一緒に回って調査を助けてくれた。感謝と共に、それ以来笑顔で接することを常に心掛けるようになった。

「初めのころは、日常生活を送る中での活動時間の調整や調査内容を把握するための事前勉強

が大変だった」と振り返る。「それでも、地域の皆さんの協力と励ましによって続けられた。続けていくうちに信頼も得られ、正確な情報収集が世の中の役に立っていると感じられ、誇りと自信が増している」と充実感をにじませる。

調査には困難が付きものだが、できないからといって投げ出すことはできない。だからこそ「互いに励まし合いながら課題を解決し、資質を向上していくために必要」と協議会に意義を感じ、会長として「研修会や交流の場を設けるなど、調査員が活動しやすい環境を整え、仲間を増やしていきたい」と思いを描く。

調査をしていて感じるのは人口の減少。国や地域が進む道筋を立てるための基礎資料となる各種調査を担うことで「将来、子どもたちが八幡平市に住み続けたい」と思える地域環境づくりと郷土を誇れる人づくりに微力ながら貢献していきたい」と照れくさそうに笑みを浮かべた。

【広告】

君のロボットがいま動き出す!

小学校から始める
プログラミング! 英会話

年齢や回数に応じたコースがありますので、安心して学べます!
子供だけでなく、大人と一緒にでもお気軽にお問合せください!

STEM KIDS
理科・算数
ロボット
プログラミング

八幡平市大更 23-100-1 (養老乃瀨の入口)
TEL.080-6034-0742
サイモン先生と一緒に学ぼう!

無料体験もあるよ!

自分で組み立ててプログラムで動かそう!

ロボザウルス

編集後記

▽情報提供いただき、岩鷲苑で撮影してきた「トラネペット」という花。最高の時期は逃してしまいましたが、とてもきれいでした。小さなネタから大きなネタまで、引き続き広報では情報を募集しています。▽フィールドXレースを取材しました。主催側のこれでもかという声が聞こえるほど設置された多数の障害物を次々乗り越えゴールを目指す選手たち。跳ぶ、乗り越える、くぐる、ショート・ロングともに大盛り上がりでした。通り過ぎる選手を応援したら「もう無理!」と返事されました。